

3 白川郷学園の特別活動

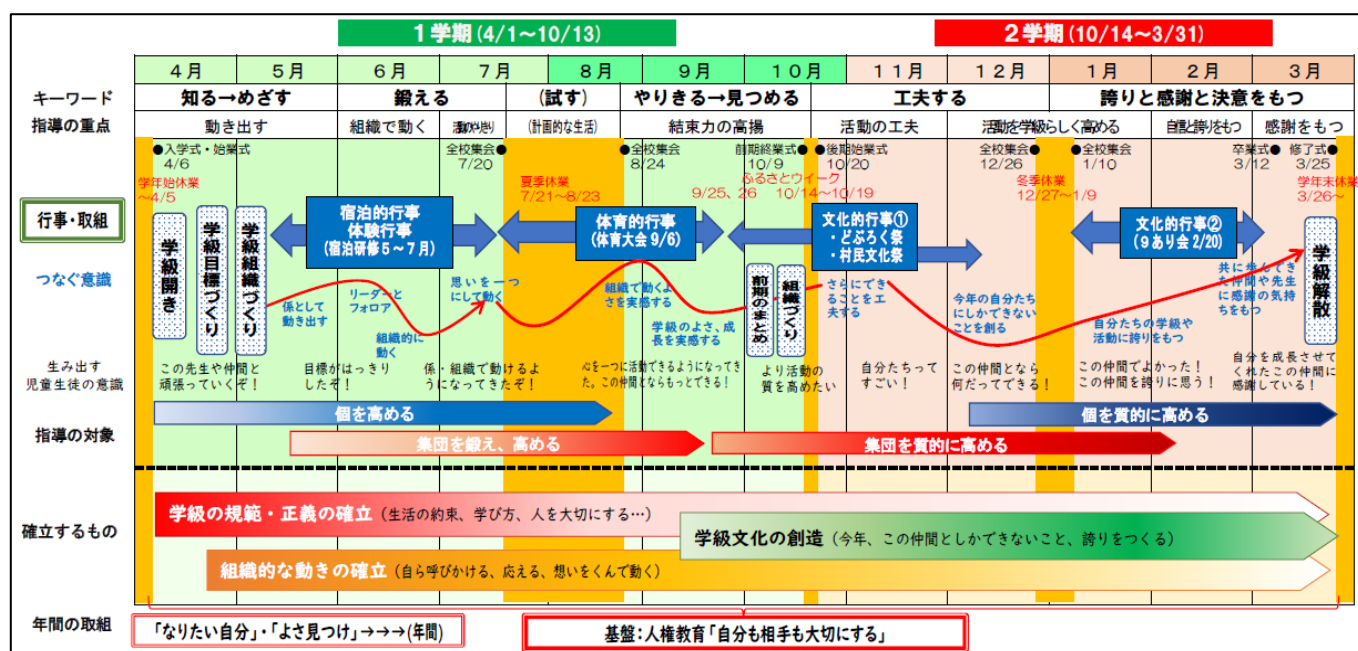
1 1年間の学級経営、子どもの育ちを描く

本校では、本年度から二学期制を導入した。子どもが学習や行事などの様々な活動に対して、目標をもち、意識を途切らせることなく、じっくり取り組むことができるようにするためである。また、夏季休業や冬季休業前に三者懇談を位置付け、それまでの学習や生活・行動を児童生徒、保護者、教員が一緒になって振り返り、長期休業期間に取り組む課題を明確にした上で取り組めるようにし、その努力や休暇明けのテスト等による結果も踏まえて教育通信で評価をするためである。

二学期制導入にあたり、年間の指導の方向性を描いた【図表1】。(本校では「前期」、「後期」と表記せず、「1学期」、「2学期」と表記している。「前期課程」、「後期課程」との混同を避けるためである。)

本校は、各学年10名程度の小規模校である。もとより「個」に焦点を当てた指導に特化しているが、「個」を育てるために、その手段として、1学期には主に「集団」を育てる。4月、新たな環境になり、児童生徒の「自発性」を高める。その上で5～6月の旅行・宿泊的行事(宿泊研修や校外での体験活動)を核として集団を鍛え、高め、体育的行事(体育大会)で集団としての結束力を高揚させる。1学期の財産を明らかにした上で、学級で大切にしてきた思いや精神をもとに、集団を質的に高めながら文化的活動を創り上げる。学級解散に向けては、集団で築き上げた財産を一人ひとりの生き方につなげ、誇り、感謝、新たな決意に結ぶ。核となる行事や活動で生み出す児童生徒の意識を端的に描いた。

学級では3つの規範を確立することとしている。「正義」は、基本的習慣であり、集団としての規範(約束やルール)である。学級開き後の黄金の3日間を含め、年度の早い時期にこそ指導をしなければ1年間、学級の動きや学級の文化は確立されない。「組織的な動き」は、1学期の係決定後にリーダー、フォロアの思いをつなぎ、組織で動くことができるように旅行・宿泊的行事等で鍛える。正義や組織的な動きが確立し、1学期の成果(大切に



【図表1】二学期制導入にあたり明確にした年間の指導の方向性

してきた動きや思い) が明確になると、「文化」が根付き始める。その文化をこそ、文化的行事で発揮できるようにしている。

このようにして一つ一つの行事や活動を線でつなぎ、学年の発達の段階や実態を踏まえながら指導にあたっている。今後、子どもの声を聞きながら二学期制導入の効果を検証し、よりよい年間の指導の在り方を探っていく。

2 異学年集団「結クラス」による活動

同年齢で編成する「学級」では、様々な集団活動を通じて多様な人間関係の築き方や集団の発展に寄与すること、よりよい自分を追求することなどを学ぶ。だとするならば、それは同一学年でなければならないのだろうか。家庭は0才～100才までの「異年齢集団」、社会に出れば18才～65才までの「異年齢集団」、地域コミュニティも「異年齢集団」である。社会で求められるソーシャルスキルは「異年齢集団」でうまく生きるためのスキルなのである。



【図表2】「結クラス遠足」

本校では、学年・学級集団に加え、1年生から9年生までの縦割りの集団「結クラス」での活動を位置付けている。年間4回、全校児童生徒を6つのクラスに分け、9年生がリーダーシップをとりながら、授業を除く1日の活動を1週間共に行っている。例年5月、10月、11月、2月に「結クラスウイーク」を位置付けている。5月の「結クラスウイーク」では、各学年に割り当てられたLP活動をもとに役割分担し、組織をもとにして活動を行う。20名程度の集団での活動を通じて、9年前や9年先の自分を見ることができ、下級生の児童生徒は上級生の姿にあこがれをもち、上級生の児童生徒は頼られることで自己有用感を高めることにつなげている。異学年集団で生活する中で集団や人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり意思決定したりしている。

結クラスで行う主な活動

①結クラス遊び

業間「青空タイム」、昼休みの遊びを自分たちで考え、9学年がそろって楽しむ。

②結クラス給食

ランチルームで給食の時間を過ごす。楽しくコミュニケーションを図るだけでなく、好き嫌いなく食べる上級生を見た下級生の食も進んでいる。

③結クラス掃除

割り当てられた場所を上級生、下級生が一緒に掃除する。

④結みがき（現在、実験的に休止中）

学習の苦手や課題を克服する。上級生は、下級生が分かるようになるまで関わる。

⑤結クラス遠足

毎年第1回目の結クラスウイークに、7年生（健康LP）の立案で学園から荻町まで遠足し、クラス内の親睦を深めるレクを行う。

⑥結クラストーク

全校でテーマを決め、結クラスごとに9年生が中心となって意見交換を通して考える。テーマが9年生が中心となって、学校生活に関することや自分たちが興味をもっていることから設定している。直近では、「体育大会の団対抗リレーの選抜方法について」、「さん付けについて」、「熱中症対策について」をテーマとした。

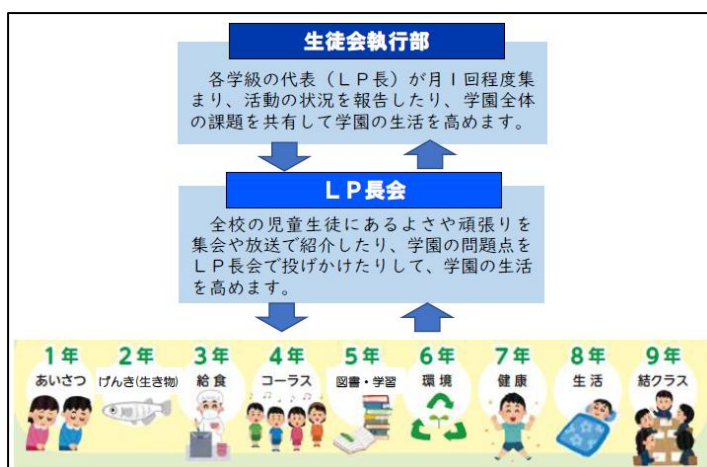


【図表3】「結クラス」における諸活動（遊び、給食、掃除、みがき、遠足、トーク）

上級生は下級生に対して優しく接することができる、下級生にとって上級生はあこがれや目標の存在になることができ、これらの関わりが上級生にとっても下級生にとってもより意義深いものになっている。本年度は、保育園児も参加する機会を設け、保小の円滑な接続に向けた取組を行う。このような取組は、保育園から12年間続く固定化された人間関係の解消にもつながっている。

3 リーダープロジェクト（LP活動）による児童生徒会活動

本校の児童生徒会活動として、リーダープロジェクト活動（以下、「LP活動」という。）を位置付けている。他の学校で一般的に行われている委員会活動が縦割りであるのに対し、本校のLP活動はその役割を学級が担う。委員会の委員長の役割をもったLP長の児童生徒を中心に、児童生徒会執行部と連携を図りながら常時活動、学園の生活をよりよくするためにできることを考え、実行している【図表4】。



【図表4】児童生徒会活動とLP活動

児童生徒会執行部は、児童生徒会会長（1名）、副会長（2名）、前期課程代表（1名）からなる。学校全体の仲間のよさを見つけて発信したり、課題点に目を向けて解決策を考えて実行したりするほか、各学級からLP長を月1回招集（LP長会）し、各活動の状況や

課題点を共有して学園生活の向上に努めている。特に本年度は、各学級がどのような活動をどのような思いをもとに行っているか共有する目的から、月1回の「学園集会」を執行部が中心となって企画し、運営している。

年度当初、活動の重複や時期の重複を避けるために教職員が主導となって年間活動計画を作成するが、児童生徒と全校の状況を見ながらすり合わせていく【図表5】。

本年度は、学園の教育目標「創造」に迫るために、新たな発想で活動を創造すること、機動力や発信力のある活動を大切にしている。月1回の執行部主体の「学園集会」、毎日8回の「校内放送」、1年生あいさつLPによる毎朝の校内挨拶隊の「巡回あいさつ運動」、2年生げんきLPの全校の仲間へよさや感謝を伝える「ニコニコてがみ」、4年生コーラス

R7 白川郷学園のLP活動例														
期	月	1期		2期		3期		4期		5期			注	
		歩み返し	歩み返し	動かし	動かし	動かし	動かし	動かし	動かし	動かし	動かし	動かし		
	活	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1	あいさつ	※年長からあいさつ回りを果たしてもらい おぼろけの森へ参る									すでにあいさつ見 つけ			
	常時活動	●あいさつまわり												
2	げんき			ひまわりの園遊会					誕生日プレゼント渡 し			読者の前アワード	誕生日プレゼント渡 し	※年長 のおぼろけの森へ参る
	常時活動	●誕生日放送 鯉のえさやり 水槽掃除												
3	給食								給食アンケート				アンケート結果発表	
	常時活動	●給食メニュー読み ●配膳時間の取組												
4	コーラス	1年生校歌の歌謡 プレゼント					合唱団結成	わくわくコンサート			わくわくコンサート		卒業式の歌謡発表	わくわくコンサート
	常時活動	●校歌の放送 季節や行事に合わせた合唱曲を流す												
5	学習 図書			学習・読書のあいさつキャンペーン					学習・読書のあいさつキャンペーン					図書読書日
	常時活動	●図書当番												
6	環境	1年生校歌のほ ろ歌を教える			大掃除・ワックス			掃除の達人表彰・放送		掃除道具の整理 大掃除		夏休み中〇〇屋の放送		ワックスかけ
	常時活動	●結クラス掃除 ●掃除道具の消毒												
7	健康		結クラス発表	夏休み中〇〇屋の キャンペーン	給食調査				大掃除大会			健康調査 夏・運動大会	夏休み中・生活い いかしCP	
	常時活動	●石鹸、アルコール補充												
8	生活	あいさつまわり										結クラスweek	礼・生きたるる 礼・生きたるる	あいさつweek the year
	常時活動	●あいさつ活動・放送												
9	結クラス		結クラスweek					結クラスweek 結クラス			結クラスweek 結クラス			
	常時活動	●結クラス遊び・結クラス発表												
●常時活動 ○単発活動 指導部の提案を受けた活動も含めて(6～9年)														

【図表5】LP活動年間計画（活動例）

LPの「ハッピーパレード」や「わくわくコンサート」、5年生学習・図書LPの放送による「読み聞かせ」、9年生結クラスLPの「ルールメイキング 夏の熱中症対策」(*)などの新しい活動【図表6～図表11】が生み出された。学級で活動することで、機動力よく創造的な活動が仕組める。今後、異学年や異活動でコラボしつつ、学校全体の活動の質的な高まりを生み出す動きを創り出していきたい。

◆本年度、児童生徒の手によって生み出された主な活動



【図表6】1年生巡回あいさつ運動



【図表7】4年生ハッピーパレード



【図表8】5年生読み聞かせ



【図表9】学園集会



【図表10】校内放送



【図表11】ルールメイキング

* ルールメイキング：夏の熱中症対策として服装や持ち物について、自分たちで自分たちの学園生活に必要なルールを話し合った。9年生が原案をつくり、結クラスで意見交流、出た意見を集約して8、9年生で結論を導出して全校で取り組んだ。